



THE SERVICE CLUB OF THE Y.M.C.A.
THE Y'S MEN'S CLUB OF NANZAN



- 国際会長主題 「命の川を信じよう」
- アジア会長主題 「変化をもたらそう」
- 西日本区理事主題 「Let's do it now！」
- 中部部長主題 「知らせよう！ ワイズの奉仕活動を」
- クラブ会長主題 「歴史を紐解き、前を見よう」

2021年6月

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

会 長 荒川 文門 副 会 長 杉山 弘時 書 記 近藤 豊
会 計 小林 滋記 直前会長 都築 正和 連絡主事 橋本 啓

今月の聖句



野原の花がどのように育つかを考えてみなさい。働きもせず紡ぎもしない。
しかし、言っておく。栄華を極めたソロモンでさえ、この花の一つほどにも着飾ってはいなかった。

ルカによる福音書/ 12章 27節

6月例会案内

第一例会

日 時：6月10日（木） 19:00～20:00
場 所：南山YMCA

「50周年について」

1. 記念式典をどうするか。
 ランチ程度 or コロナ収束後にディナーか
2. アルバムをどうするか。
3. 他クラブとの関係など。

緊急事態宣言下であり、時間も限られています。
いい結論が出るかどうかは分かりませんが、時間厳守で要領よく手身近にある程度の結論を得たいと思います。「宣言下」ですので食事は用意しません。

第二例会

日 時：6月17日（木） 19:00～20:00
場 所：南山YMCA

1. 新年度総会準備
 総会資料作成の各担当者の役割確認
2. その他

緊急事態宣言下のため十分な時間はとれません。時間厳守で1時間以内をめどに進めたいと思います。

5月第一例会報告

日 時：5月9日（日） 10:00～12:00
場 所：ワイズ農場

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾
ゲスト：岡本

5月9日（日）農場例会が第一例会でした。例年とは異なり、他クラブには声掛けできなかったのではほぼ南山クラブメンバーだけの会でした。玉ねぎの収穫、ジャガイモの収穫をして、台北用の写真を撮り解散しました。ピザ窯にも火入れは出来ず寂しい限りです。早く収束しかつての日常を取り戻し楽しい会を持ちたいものです



5月報告	在籍7名	第1例会出席	第2例会出席	メイクアップ	出席率
		6名	7名	0名	100%

5月第二例会報告

日 時：5月20日（木） 19:00～20:00

場 所：南山YMCA

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾、橋本

5月20日（木）南山YMCAにて第二例会が開かれました。コロナの関係で時間が短く色々十分な討議は出来ませんでしたが、台北用のビデオレターの撮影は完了しました。台北の馬さんがDG（部長）を7月からされることになり、ブラザークラブよりお祝いのメッセージを、ということで2分ほどの自己紹介込みのビデオレターを作成し、すでに送付済みです。



農場報告

1. 農場では、6月1日をもって一応玉ねぎは終了することにします。提供先は、南山幼稚園、神沢保育園、名広養育園、南山寮、日本語学校、希望の家等です。コロナ騒動がなければこれだけ大規模に提供することはできませんでした。本来なら南山幼稚園家族の会、神沢家族会などでかなりの収入を見込んでいましたが結局収入は0、苗代、肥料代など何とか一般会計に世話にならないといいな、という願望も絵にかいたモチに過ぎなく成ってしまいました。赤字転落ですが協力金も支援金も回ってこないのでもっと苦しい状況に追い込まれました。

2. 5月29, 30日サツマイモの苗を1500本植え付けました。梅雨にも関わらず絶好の好天続きで雨がないと困るのにどうしたらいいでしょうかね

出 席：荒川、小林、近藤、杉山、都築、深尾
ゲスト：幼稚園の先生4名、大原、清水夫妻

3. 6月1日 YMCAの遠藤主事、スタッフ、リーダー3名が日和田向けに収穫しました。

又日本語学校用、幼稚園用も収穫し持って帰ってもらいました



「ちょっと一言」

コロナのために山登りに出かけるのに罪の意識を感じながら近場の低い山に出かけますが中々気分はすっきりしません。「宣言中」に歩き回っていて感染したら世の人に何を言われるか、と思うとやめた方がいいな、と思いながら出かけます。

奥三河へミカワバイケイソウを見に行ってきました。かつては三河地方の湿地のあるところにはどこでも5月の初めに咲いていた花ですが最近は開拓が進み大群落は愛知県にはもうないそうです。「ミカワ」と冠がつくのですが今では静岡県奥の山奥、東濃の山などに自生しています。北アルプスなどの山に入るとコバイケイソウという名の同種の亜高山植物がありますがミカワバイケイソウの方が堂々として立派です。

コロナに遠慮せず思い切って2, 3泊しながらどこかの山の尾根を歩きたいものです。体力的にいつダメになるかもしれない、と思うと少々焦りを感じてしまいます。そんなことを考えながら山の本を読んで家籠りをする毎日です。

